

# まちづくりワークショップ研修－計画立案や協同学習のための討論技術習得講座－

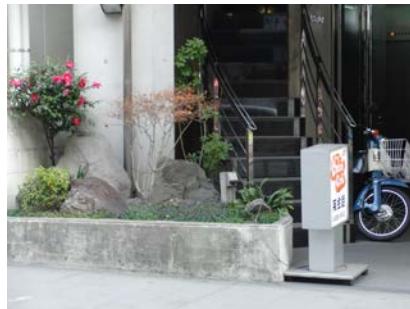
第1回（2012.01.25） 「まちなか工房のビルの玄関には石庭がある！」 ホント！

まちなか工房では、新たな社会貢献事業として「まちづくりワークショップ研修－計画立案や協同学習のための討論技術習得講座－」を開始した。第一段は、平成25年1月25日、2月1日、8日の3回、いずれも金曜日18:30～21:00、まちなか工房にて。定員15人。

第1回目は、「アイデア出しを支援する技術」がテーマ。グループ討論をする際に、①参加者が討論に責任をもち（他人任せ、フリーライドにさせない）、②言うべきことがある状態にしてあげる（討論に入る前に、個々人に小さな個別課題を与える）ことが大事で、それを組み込んだワークショップを組み立てるべきである。

例えば、タウンウォッチングをする場合、ただ単にまちに出てまちを見てくればよい、というものではない。まちに出る前に、個々人に個別の視点を与え、その点については責任をもって見、報告するように仕向ける。・・・それによって個人の個性が押し殺されるという心配はない。むしろ、自分では持ち得ない視点によって感性が高まり、与えられた視点以外のいろんなものも見えてくる。そういう状態をつくってあげないと、段差をなくす、落書きが多い、ゴミが目立つ、シャッター通り・・・と言ったありきたりの情報からありきたりの提案をして終わるワークショップになってしまう。

「安らぎのミニ緑地を探しなさい」という視点を与えられた人ならば、まちなか工房の入居する太陽堂薬局ビルの入口に石庭があることに気づくはずである。（必ずここを通過して階段を上っていくのに、石庭が記憶にない人は結構いるはずだ。学生諸君、どうだい？）



文責・講師：前田（工房研究員 20130125）